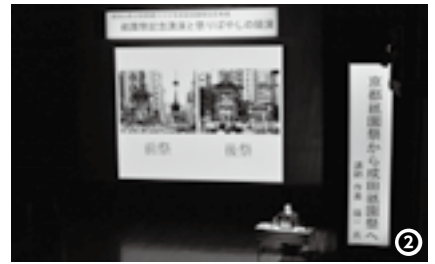


祇園祭記念講演と祭りばやしの競演 6月13日



さまざまな地域の伝統に触れる

成田山奥之院の祭礼が始まってから300年を記念して「祇園祭記念講演と祭りばやしの競演」がスカイタウンホールで行われました。第1部では作美陽一さんが講演を行い、京都祇園祭を中心とした全国の祇園祭の特徴や、成田祇園祭との違いについて解説しました。第2部では成田・佐倉・佐原・潮来(茨城県)・秩父(埼玉県)の5つの保存会によるお囃子はやしの演奏が行われ、来場者はそれぞれの地域で異なる軽快な曲調を楽しんでいました。



①成田祇園祭で演奏される佐原囃子を披露②京都祇園祭の特徴を解説③関根副市長との対談も④大太鼓が鳴り響く秩父屋台囃子

暮らしを彩る器づくり 6月2日



手びねりで深みのある作品を

陶芸の楽しさを知ってもらおうと「暮らしを彩る器づくり」が三里塚コミュニティセンターで開かれました。全4回のうち初回のこの日は、手で回すろくろを使って形を整える手びねりという手法で成形に挑戦。力加減に戸惑いながらも、指先を使って丁寧に粘土の厚みを整え、個性豊かな皿やマグカップ、植木鉢などを作りました。参加者は「早く色や模様を付けてみたい。出来上がりが楽しみ」と話していました。



完成をイメージしながら

植木剪定教室 6月6日



自宅の庭木も美しく

庭木の手入れ方法を学ぶ「植木剪定教室せんてい」が遠山公民館で行われました。同公民館の植え込みで実習する予定だったこの日はあいにくの雨模様。会議室で、庭木を剪定する時期や不要な枝の刈り方についての講義と道具の使い方の実技指導などが行われました。参加者は、休憩時間中も剪定後の幹の切り口を保護する薬剤について講師に相談するなど、積極的な姿勢で学んでいました。



黒板に図を描いて説明



宗吾霊堂紫陽花まつり 6月6日～27日



色彩豊かな景色に囲まれて

梅雨の季節を彩るアジサイを楽しんでもらおうと「宗吾霊堂紫陽花まつり」が宗吾霊堂で開催されました。期間中の日曜日には箏や尺八、二胡の演奏会が行われ、訪れた人たちは静かな境内で優雅な音色に聞き入っていました。大本堂の裏手にあるあじさい園では、ガクアジサイや柏葉アジサイなど約7,000株が美しく咲き誇り、彩り豊かな花と緑の景色をつくり出していました。



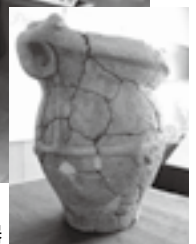
①大本堂で箏と尺八の演奏会②アジサイのトンネルに囲まれて③日の光を受けてあでやかに咲く④みんなで一緒に記念撮影

下総歴史民俗資料館企画展 6月1日～27日



不思議なデザインに興味津々

市内で発掘された出土品を知ってもらおうと、企画展「成田の発掘調査最前線—水神作遺跡」が下総歴史民俗資料館で開催されました。会場では、所地先で発見された約4,500年前の縄文時代の集落跡である水神作遺跡から出土した土器や石器、遺跡の写真などが展示されました。来場者の一人は「不思議な模様が描かれた土器にはどんな思いや意味が込められているのかを考えると、とても興味深かった」と話していました。



会場には歴史好きが集まる
水神作遺跡で出土した縄文土器

マイ・タイムライン講習会 6月12日



風水害時の行動を考えて

根木名川の特徴を学び、風水害時の避難行動を考えてもらおうと「マイ・タイムライン講習会」が市役所6階大会議室で開催されました。マイ・タイムラインとは、風水害時に、いつ・どのタイミングで避難行動をするかを時系列で表した計画のことで、逃げ遅れゼロにつなげようというもの。参加者は講師のアドバイスを受けながら、日頃の準備や避難のタイミングなどを考えて計画を作成しました。



アドバイスを参考に